

飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情について (H30年7月)

○ 全日畜では、全日基の協力で「飼料穀物の需給見通し及び輸入原料事情」を提供します。

(1) 米国産とうもろこしの2018/19(平成29.9~31.8)年度の需給予測

【生産量】 3億6,146万トン (前月予測比: +483万トン)

【単収】 10.92トン/ha (前月予測同)

(174.0ブッシェル/エーカー)

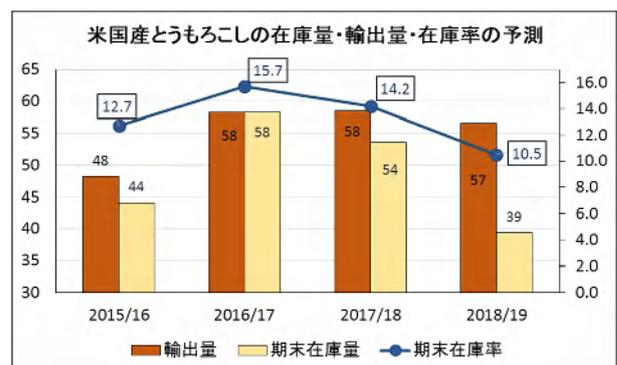
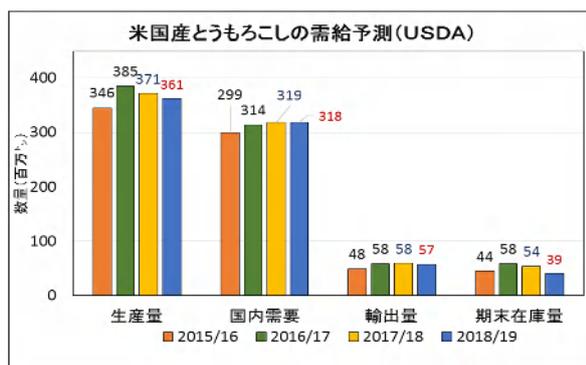
【国内需要量】 3億1,828万トン (前月予測比: +38万トン)

【輸出量】 5,652万トン (前月予測比: +318万トン)

【期末在庫】 3,942万トン (前月予測比: ▲64万トン)

【期末在庫率】 10.5% (前月予測比: ▲0.27ポイント)

(世界の期末在庫率 13.9%)



(2) 飼料穀物(シカゴ)相場及び為替相場の状況等

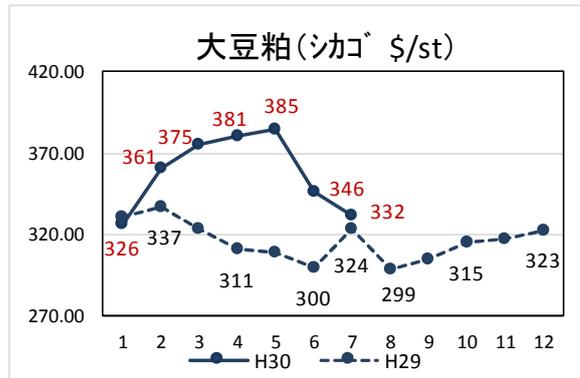
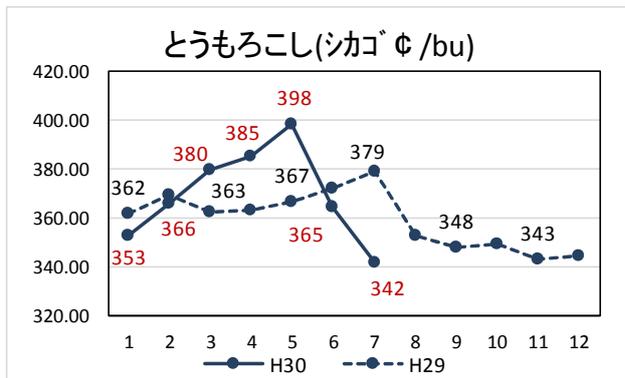
区分/月平均	3月	4月	5月	6月	7月	
とうもろこし(¢/ブッシェル)	379.6	385.5	398.2	375.8	341.8	↓
大豆油粕(ドル/トン)	375.2	380.8	384.5	364.9	332.1	↓
為替相場(円/ドル)	106.6	106.3	109.1	109.9	110.3	↑
フレート(ドル/トン)	46.0	46.0	45.9	46.1	48.0	↑

資料: 飼料月報、業界紙等 直近月は月半ば(7/12)までの平均値

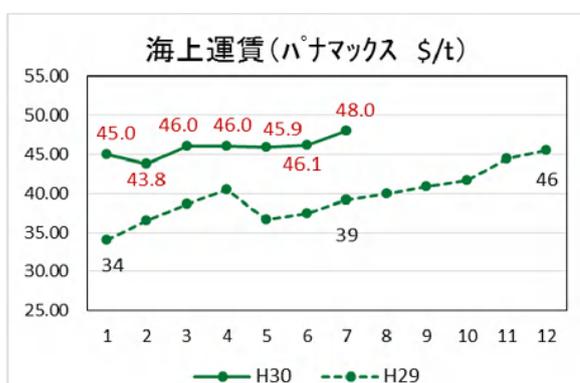
(注) 穀物価格はシカゴ相場の期近物平均、フレートはメキシコ湾岸~日本、為替レートは税関長指示レート

(参考)

① シカゴ相場



② 為替、フレート



③ 配合飼料原料の輸入価格 (通関月ベース CIF 円/トﾝ)

